■ 現行計画（第１次富士市観光基本計画）の全体像

H27
H28
H29
H30
R 元
R02
R03
R04
R05
R06

フレームワーク

第１章　計画の趣旨　P01

○**富士市観光基本計画とは…**　自然資源、歴史・文化資源、各種産業（製紙業など）を、観光資源として活用することで、交流人口を拡大させ、地域経済の活性化につなげる（＝目的）ための「青写真」として策定する。

○ 計画の位置付け　　○ 後期の計画期間（R02～R06）

第２章　計画の性格・方向性・策定の視点及びコンセプト　P02

○計画の性格　　○観光施策の方向性 @6

○計画策定の視点 @5

○基本コンセプト ： 世界遺産「富士山」を最大限活用した観光振興

○将来目標　　：令和６年度 観光交流客数 750 万人

第３章　国・静岡県の観光動向　P03～P05

○我が国の観光の現状と展望

○静岡県の観光に関する取組み

① 共　創

② 高品質

③ 継　続

第４章　富士市の観光の現状　P06～P13

1　観光地としての地域概況

2　統計から見る富士市観光の概況　・観光客の推移

・周辺地域との比較　・観光客の動向　など

3　旅行者および旅行代理店からの評価

4　総括　・観光地としての現状　など

第６章　後期の推進方針　P18

●後期の計画推進の方針

…地域の観光事業の創出を促すとともに、既存の観光事業が継続・発展できる環境をつくることで、市内観光を振興する。

▶ 重点事項１：誘客の促進

▶ 重点事項２：民間活力の活用

▶ 重点事項３：観光に対する事業者等の機運醸成

第５章　観光施策の現状と課題★**現行計画（後期）の検証**　P14～P17

1 産業資源の活用
2 富士山の眺望と文化の活用
3 おもてなしの推進
4 歴史・自然の活用
5 スポーツ交流の推進
6 観光インフラの整備
7 広域連携の強化

＝ 基本コンセプト ＝

世界遺産「富士山」を最大限活用した観光振興

基本コンセプト

第７章　計画における施策の展開　P19

施策
計７施策

事業
計 34 事業

1 産業資源の活用	2 富士山の眺望と文化の活用	3 おもてなしの推進	4 歴史・自然の活用	5 スポーツ交流の推進	6 観光インフラの整備	7 広域連携の強化
P20～P22	P23～P25	P26～P27	P28～P30	P31～P32	P33～P35	P36～P37
1）田子の浦港や富士山しらす街道の活性化 2）観光農園の活用 3）地元特産品のＰＲ強化 4）工場夜景の活用 5）紙のまちの情報発信 6）岳南電車の活用	1）写真コンテストの活用 2）富士山ビューポイントの活用 3）茶畑保存による景観保全 4）富士山かぐや姫ミュージアム（市立博物館）と広見公園の活用 5）富士山登山ルート 3776 の活用とＰＲ	1）まちの駅・観光ボランティアガイド等の充実 2）外国人対応の充実 3）富士山観光交流ビューローによる情報発信と観光案内機能等の充実 4）コンベンション（ＭＩＣＥ）の誘致	1）岩本山・かりがね堤の活用 2）歴史公園・自然公園の活用 3）富士川・松野地区等の文化財の活用 4）須津川渓谷の活用 5）湧水資源の活用 6）市内のまつり等のＰＲ	1）官民で連携したスポーツイベント・スポーツ合宿の誘致 2）スポーツ施設の整備・活用 3）サイクルツーリズムの推進	1）観光スポットでの受入環境の向上 2）田子の浦港の賑わいづくり 3）富士山の見える産業観光拠点の形成 4）主要な観光スポットへのアクセス向上 5）道の駅の計画的な施設改修と活用 6）ＩＣＴの活用 7）観光案内板の整備等	1）富士地域（富士市・富士宮市）の連携強化 2）静岡県および他市町村との連携 3）富士山静岡空港を活用した富士山の観光振興の推進

第８章　計画の実現に向けて　P38

■ 現行計画（第１次富士市観光基本計画）の全体像

※ 見直しのポイント（５つのポイント）

フレームワーク

ポイント1：富士市の観光に関するデータを収集し、課題の立案に向けた糸口とする。

第１章 計画の趣旨 P01

○富士市観光基本計画とは… 自然資源、歴史・文化資源、各種産業（製紙業など）を、観光資源として活用することで、交流人口を拡大させ、地域経済の活性化につなげる（＝目的）ための「青写真」として策定する。

○ 計画の位置付け　○ 後期の計画期間（R02～R06）

第２章 計画の性格・方向性・策定の視点及びコンセプト P02

○計画の性格　○観光施策の方向性 @6

○計画策定の視点 @5

○基本コンセプト ： 世界遺産「富士山」を最大限活用した観光振興

○将来目標 ：令和６年度 観光交流客数 750 万人

第３章 国・静岡県の観光動向 P03～P05

○我が国の観光の現状と展望

○静岡県の観光に関する取組み

① 共　創

② 高品質

③ 継　続

第４章 富士市の観光の現状 P06～P13

1 観光地としての地域概況

2 統計から見る富士市観光の概況　・観光客の推移

・周辺地域との比較　・観光客の動向　など

3 旅行者および旅行代理店からの評価

4 総括　・観光地としての現状　など

第６章 後期の推進方針 P18

●後期の計画推進の方針

…地域の観光事業の創出を促すとともに、既存の観光事業が継続・発展できる環境をつくることで、市内観光を振興する。

- 重点事項１：誘客の促進
- 重点事項２：民間活力の活用
- 重点事項３：観光に対する事業者等の機運醸成

第５章 観光施策の現状と課題★現行計画（後期）の検証 P14～P17

1 産業資源の活用
2 富士山の眺望と文化の活用
3 おもてなしの推進
4 歴史・自然の活用
5 スポーツ交流の推進
6 観光インフラの整備
7 広域連携の強化

ポイント3：「富士山」を活用するというコンセプトは継続する。

ポイント2：計画の構成自体に戦略性・ストーリー性を持たせ、メリハリをつけ、ロジックツリーで整理する。

基本コンセプト

＝ 基本コンセプト ＝

世界遺産「富士山」を最大限活用した観光振興

第７章 計画における施策の展開 P19

施策 計６施策

事業 計 34 事業

1 産業資源の活用 P20～P22	2 富士山の眺望と文化の活用 P23～P25	3 おもてなしの推進 P26～P27	4 歴史・自然の活用 P28～P30	5 スポーツ交流の推進 P31～P32	6 観光インフラの整備 P33～P35	7 広域連携の強化 P36～P37
1）田子の浦港や富士山しらす街道の活性化	1）写真コンテストの活用	1）まちの駅・観光ボランティアガイド等の充実	1）岩本山・かりがね堤の活用	1）官民で連携したスポーツイベント・スポーツ合宿の誘致	1）観光スポットでの受入環境の向上	1）富士地域（富士市・富士宮市）の連携強化
2）観光農園の活用	2）富士山ビューポイントの活用	2）外国人対応の充実	2）歴史公園・自然公園の活用	2）スポーツ施設の整備・活用	2）田子の浦港の賑わいづくり	2）静岡県および他市町村との連携
3）地元特産品のＰＲ強化	3）茶畑保存による景観保全	3）富士山観光交流ビューローによる情報発信と観光案内機能等の充実	3）富士川・松野地区等の文化財の活用	3）サイクルツーリズムの推進	3）富士山の見える産業観光拠点の形成	3）富士山静岡空港を活用した富士山の観光振興の推進
4）工場夜景の活用	4）富士山かぐや姫ミュージアム（市立博物館）と広見公園の活用	4）コンベンション（ＭＩＣＥ）の誘致	4）須津川渓谷の活用		4）主要な観光スポットへのアクセス向上	
5）紙のまちの情報発信	5）富士山登山ルート 3776 の活用とＰＲ		5）湧水資源の活用		5）道の駅の計画的な施設改修と活用	
6）岳南電車の活用			6）市内のまつり等のＰＲ		6）ＩＣＴの活用	
					7）観光案内板の整備等	

ポイント4：施策 →「目標」、事業 →「施策」とし、それぞれの「目標」ごとに「数値目標（いわゆる KPI）」を設定する。→目標達成型の視点でロジックを組み立てる。

ポイント5：目標を達成するための具体的なプロセスやロードマップなどを示す「アクションプラン」としての役割も兼ね備えた「実効性のある計画」として策定する。